

アカゲラ通信

2016年12月号

(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



「森の家」年末年始の開館について

「森の家」は12月31日(土)、1月1日(日)、2日(振休)は閉館とさせていただきます。

1月7日(土)の「早朝野鳥観察会」より通常開館となります、よろしくお願ひします。

公園のトイレはレストハウス、ピクニックテラス脇、第2駐車場、ちびっこ広場の4カ所が閉鎖のため、

冬期間のトイレは展望台西側か「森の家」(開館時)をご利用ください、よろしくお願ひします。

クリスマスとヤドリギ

今月は、旭山記念公園でも多く見られるヤドリギとクリスマスの関係に迫ってみたいと思います。

●ヤドリギとは？

ヤドリギは旧ヤドリギ科、現APG植物分類体系ではビャクダン科に属する常緑低木、高さ最大100cm。

その名の通り他の木に寄生し、自身では地面に根を張ることはできません。

主に落葉広葉樹に寄生し、ハルニレ、シラカンバに多く見られます。

旭山でよく見られるのは赤い実がなる変種アカミノヤドリギですが、

札幌近辺では黄色い実がなるヤドリギはほとんど見られないそうです。



●親木＝宿主に影響はないの？

ヤドリギは親木＝宿主に根を下ろし多少養分はもらいますが、自身も光合成し養分を作るため、親木には直接的な影響は与えないと考えられています。

●ヤドリギの実が大好きなヒレンジャク

ヤドリギの実はヒレンジャクやキレンジャクが大好物、ヒヨドリも食べます。

実は「液果」で、ゼリー状の物質に緑色の種子数個がくるまれています。

この種子は鳥の体内で消化されずそのまま排泄され、鳥が移動した先の木に糞として落ちることで散布され芽が出て育ちます。

ヤドリギにとってヒレンジャクなどの鳥たちは欠かせない存在です。



●ヤドリギとカラスの巣の違い

木の枝を積み重ねて作られたカラスの巣は遠くから見るとヤドリギに似ています。

しかし、決定的な違いがひとつ。

カラスの巣は必ず幹と枝が分岐する部分に作られるのに対し、ヤドリギは多くは枝につきます。

●ヤドリギとクリスマスの関係

欧米ではヤドリギはクリスマスの飾りによく使われ、「ヤドリギの下では、男性が女性にキスをしてもいい」と言われています。

ヤドリギは英語で”mistletoe”(ミッスルトウ)、欧米のクリスマスソングの歌詞によく出でますが、

クリスマスには男女の仲が上手くいくようにといふ「おまじない」として飾られるのでしょう。

興味がある方はダニー・ハサウェイ(Donny Hathaway)の曲 This Christmas をネット検索してみてください。なおヨーロッパのセイヨウヤドリギは実がクリーム色で、季節になると飾りとして販売されるそうです。

●でも、ヤドリギって…

ヤドリギは普通は高いところにあって手が届かないし観察も大変ですよね。

だけど欧米では昔から飾りに使われ売られてもいる。

はしごで取るにも高すぎるし、ヤドリギが売れるほど木が自然に倒れるとも考えにくい。

どのように手に入れたか想像すると、昔は薪のために切り倒した木についているものを利用したのではないかという考えに至りましたが、どうでしょうか？



●ヤドリギを楽しもう

今回の記事でヤドリギを少しだけ身近に感じていただけたでしょうか。

地面に落ちたヤドリギを見つけたら、ぜひ拾い上げて観察してみてください。

見た目「茎わかめ」を大きくしたような黄色みの強い緑色をしていてきれいですよ。

「早朝野鳥観察会」次回の日時

★「早朝野鳥観察会」2016年1月7日(土) 7時30分~9時15分頃まで

参加費100円(保険代) 定員:15名(先着順) ■見られる鳥:アカゲラ、キバシリ、エナガ等

※12月は日の出が遅いため観察会の開始時刻も遅くなります、ご了承ください。

※双眼鏡貸し出します(無料)。数に限りがあるのでご希望の方は参加申込時にお申し付けください。

11月はいくつか特徴的な鳥の動きが見られた

11月に旭山で観察された野鳥の話題をまとめました。

●ルリビタキ:旭山では秋は年により見られなかったり、いても1、2日ということもありますが、今年は10月下旬から11月19日頃まで滞在していました。
滞在中は登山道入口下で姿がよく見られ、楽しませてくれました。(右写真上)



↑ルリビタキ雌

●カヤクグリ:春に南から来る夏鳥のカヤクグリ、繁殖は高山で行い、春と秋の移動の時期に平地でも見られますが、旭山では記録が一度あるだけでした。
それが今年11月23日、ひょっこりと1羽だけ現れました。



↑カヤクグリ

●ツグミ:今年は10月中はちらほらと見られるだけでしたが、11月8日の夜、街中で上空からツグミの声が聞こえ、翌日旭山で50羽以上を確認しました。
その夜が渡りの日、ちょうど札幌に到着した頃だったようです。

なお、10月10日にはツグミの群れの中にマミチャジナイも数羽いました。

●ヒレンジャク:10月下旬に数羽の群れを確認し、例年であれば1月上旬まで滞在しますが、今年は11月中旬にはもう見られなくなりました。

●マヒワ:今年は多くいます。 ●ベニヒワ:今年は11月中旬から滞在しています。

●ウソ:声はよく聞かれます。 ●キバシリ:10月下旬から比較的よく見られるようになりました。

●オオアカゲラ:昨年は「森の家」の近くのシラカンバによく来ていましたが、今年もまた来ています。

●クマゲラ:この冬は旭山ではまだ見る機会が少ないですが、この先はまた来るようになると思われます。

●エナガ:「森の家」周りで数羽の群れによく出会います。 ●カケス:現時点では11月に一度見られただけです。

●ハシブトガラ:毎年12月になると「ピィピィピィ」と囁りを始めます。

2017(平成29)年初日の出について

2017年元日も未明から初日の出を拝む人で旭山記念公園は賑わいます。

元日は午前5時に駐車場開門となり、日の出時刻は7時6分です。 2016年の初日の出→



当日は混み合いますので係員の指示に従っていただけますようお願いいたします。

旭山ミニ写真ギャラリー ~冬枯れた植物~



●ススキ



●オオウバユリ



●オオイタドリ



●ツルアジサイ



●オオアワダチソウ

編集後記

旭山記念公園も本格的な冬を迎えようとしています。

旭山の冬の人気者といえばエゾリス、そして今はエナガでしょうか。

エナガ(亜種シマエナガ)は特徴的な声で「じゅるっ じゅるっ」と鳴きます。

「じゅるっ」と聞こえたら、声の主を追ってみてはいかがですか。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第37号 2016(平成28)年12月4日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話 011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>